

14.2.1  
75



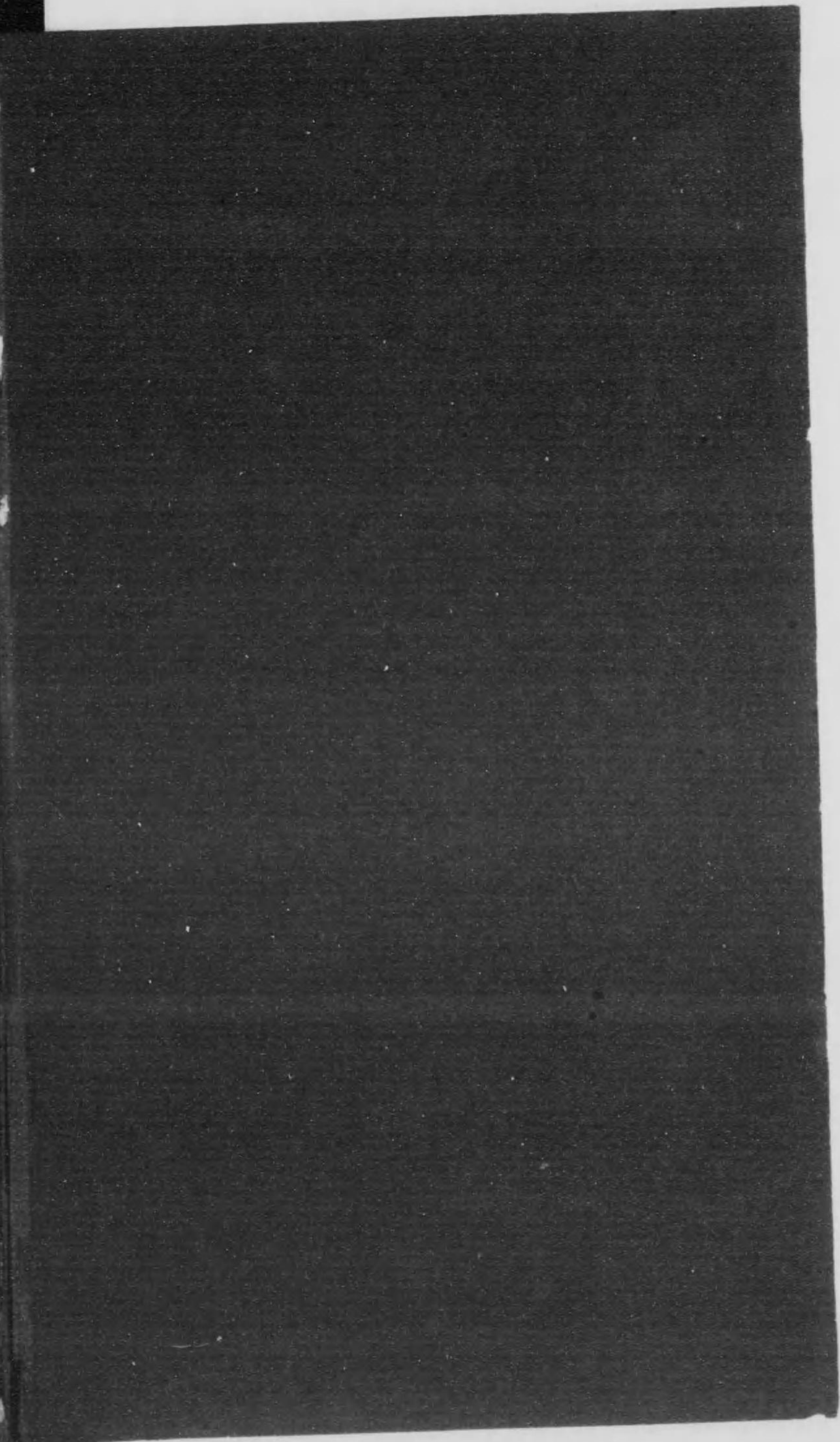
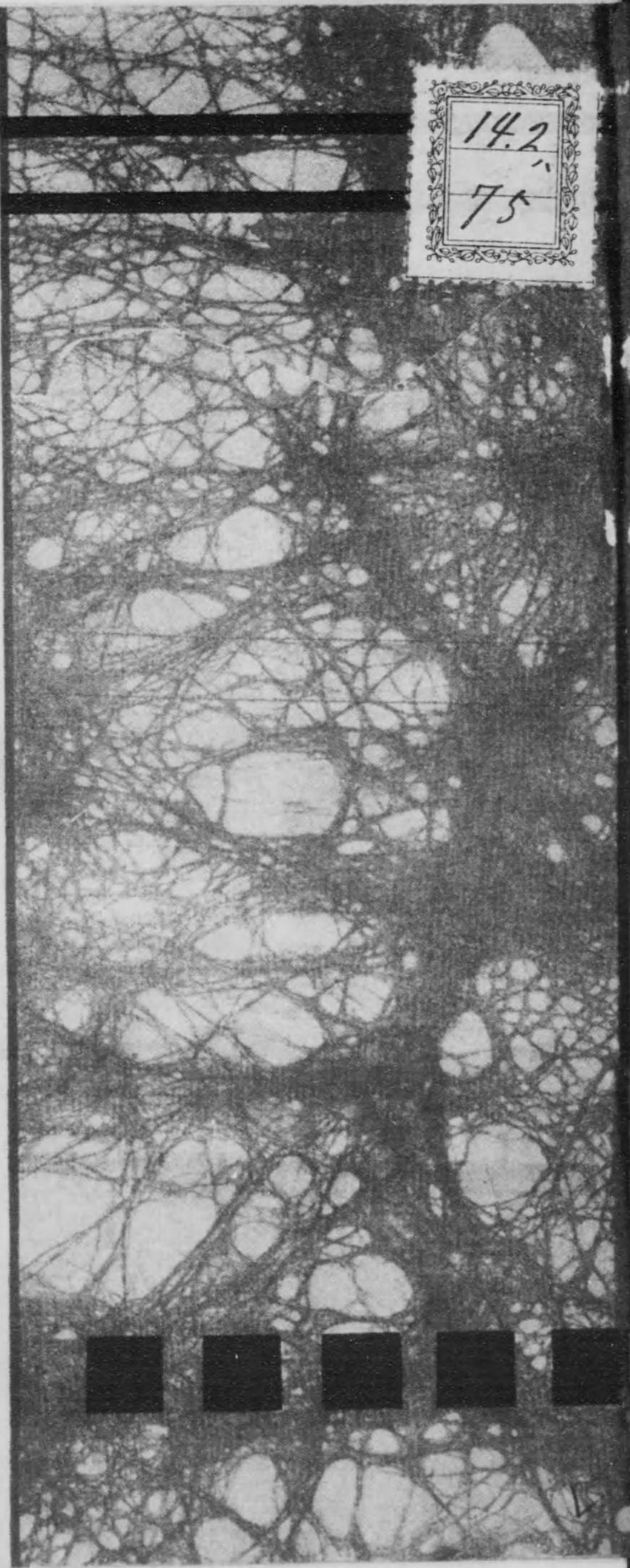
始



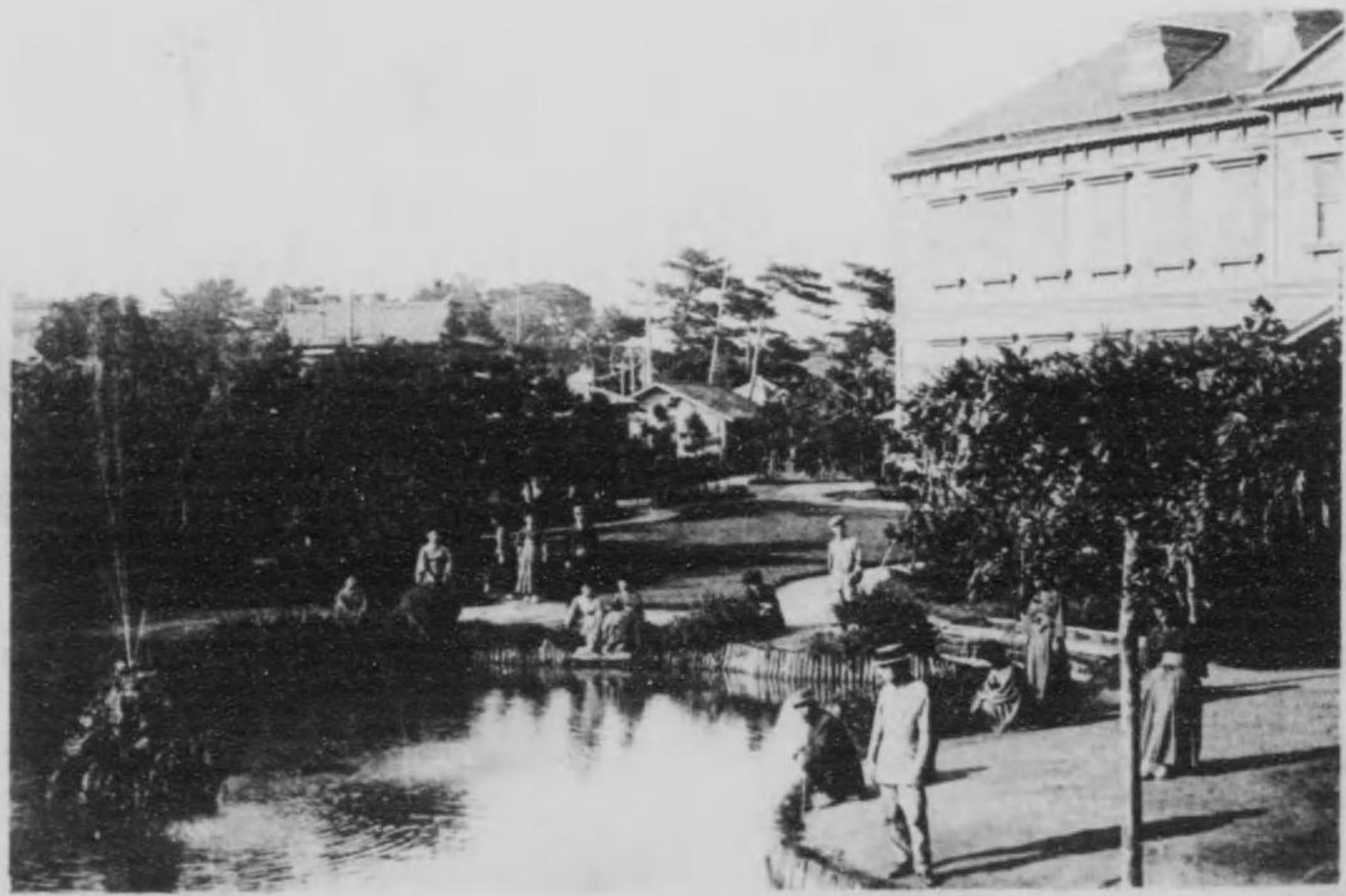


新潟縣物産陳列館第十幸報

14.2  
75

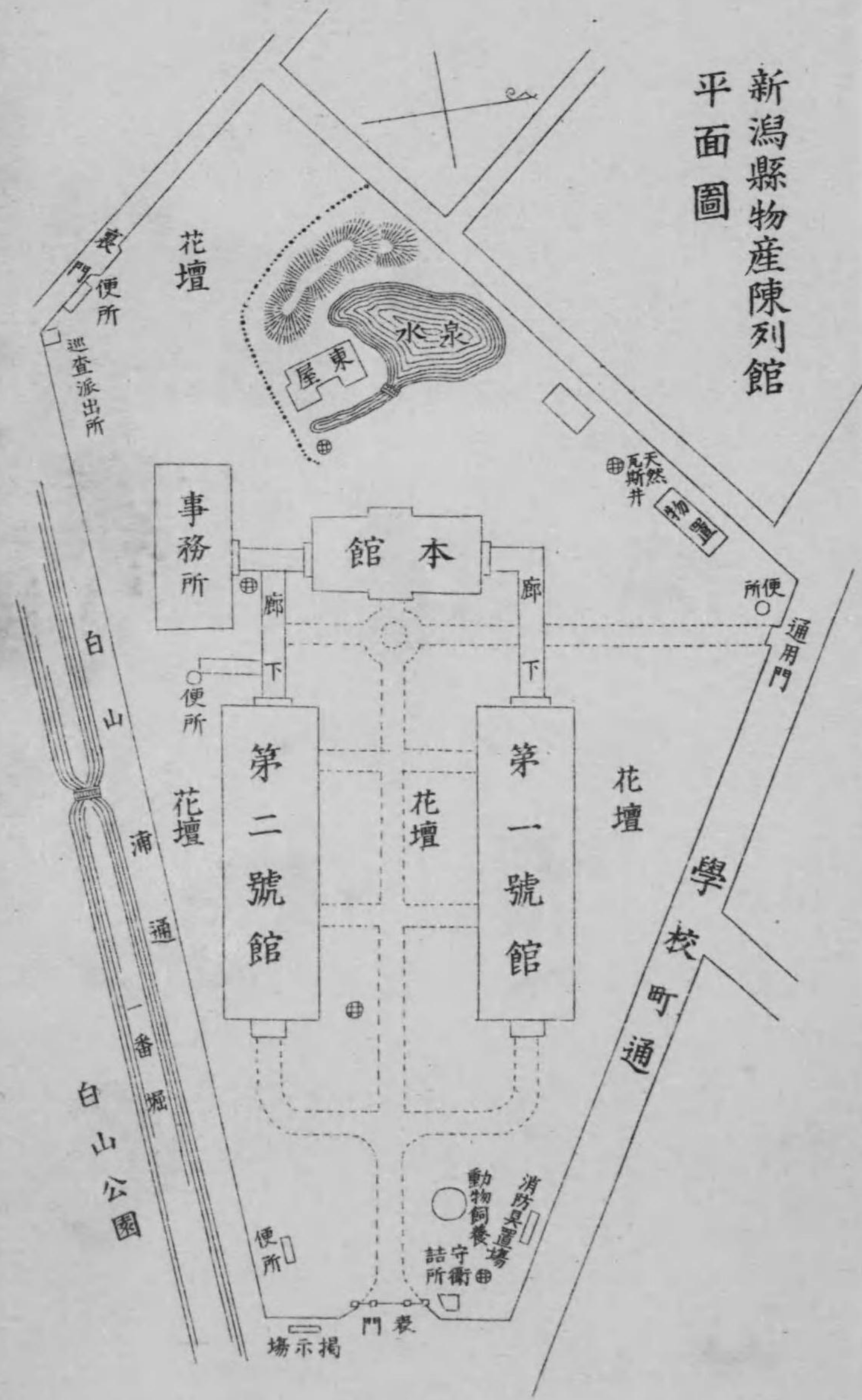




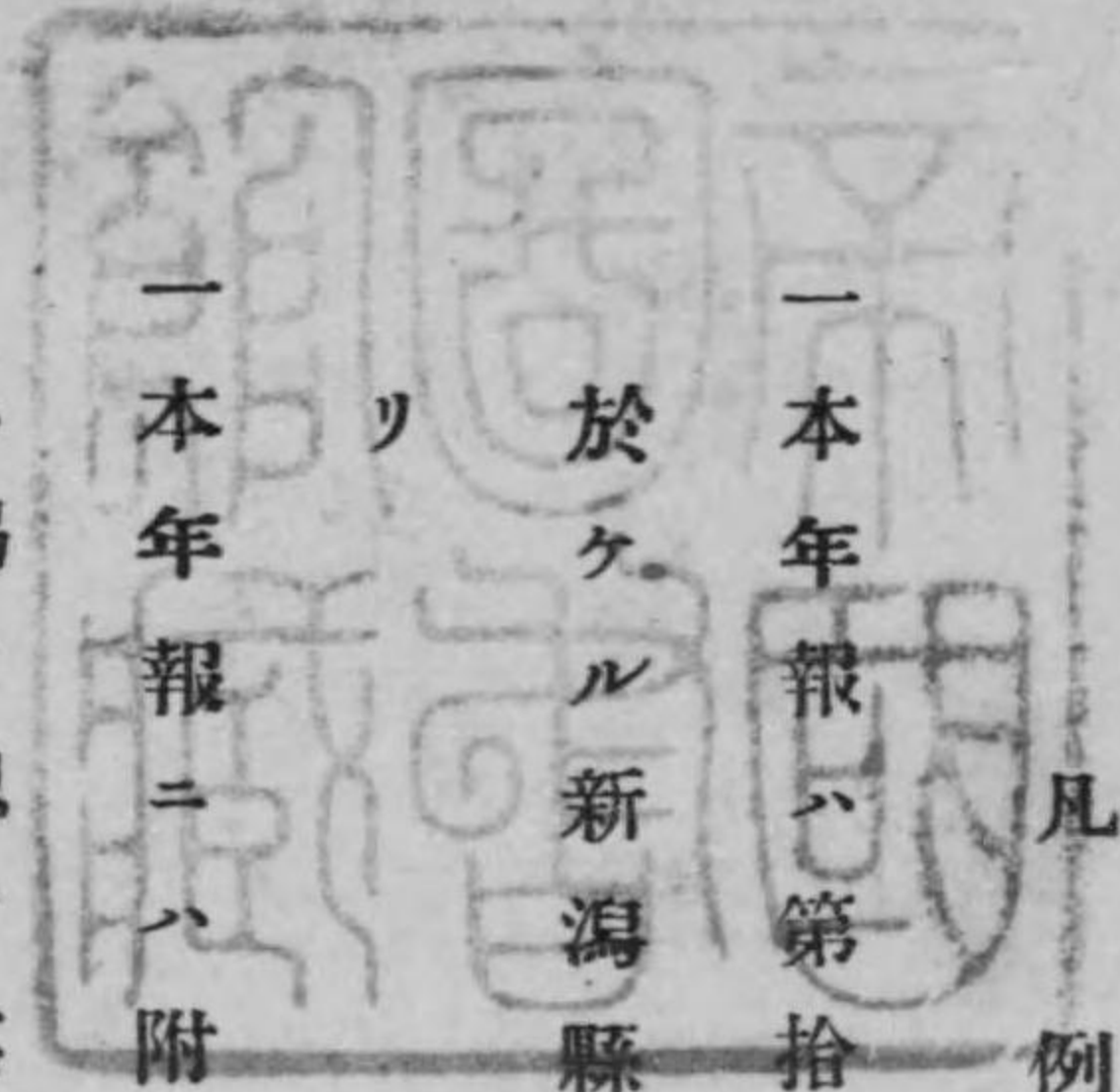




新潟縣物産陳列館  
平面圖







凡例

一 本年報ハ第拾年報ニ亞キ明治四十五年大正元年ニ  
 於ケル新潟縣物産陳列館ノ事蹟ヲ蒐集セシモノナ  
 リ

一 本年報ニハ附録トシテ本縣重要物産ノ概況ヲ卷尾  
 ニ掲ケ以テ其生産狀況ヲ知ルノ便ニ供セリ

大正  
 3. 12. 16  
 内交



目次

第一	沿革	.....	一
第二	諸規則	.....	二
	(一) 新潟縣物產陳列館規則	.....	二
	(二) 新潟縣物產陳列館職制	.....	二
	(三) 新潟縣物產陳列館處務規程	.....	三
第三	職員	.....	四
第四	敷地及建物	.....	六
	(一) 敷地	.....	六
	(二) 建物	.....	六
第五	經常費豫算	.....	七
第六	館務ノ梗概	.....	八
第七	開館日數及觀覽人員	.....	九

五大  
81.5.18  
交内



第八	開館日數及觀覽人員	一九
(一)	開館日數及觀覽人員累年比較表	二〇
(二)	購入參考品	二一
(三)	農商務省商品陳列館貸與品	二二
(四)	參考品寄贈者氏名	二四
(五)	參考品委託者氏名	二五
(六)	參考品貸與	二五
(七)	參考品分與	二六
(八)	圖書貸與	二六
(九)	圖書閱覽	二七
(十)	陳列品說明	二七
第九	參考品回覽	二七
第十	巡回陳列	二八
	調查及通商紹介	二九

(一)	調	二九
(二)	通商紹介	二九
第十一	圖案調製	三〇
第十二	委託販賣品ノ狀況	三〇
(一)	販賣點數價額累年比較表	三〇
(二)	委託販賣品販賣高月別表	三一
(三)	委託販賣品受拂表	三一
(四)	委託販賣品出品人郡市別表	三二
(五)	販賣品委託者別點數價額表	三六
第十三	雜件	三八
(一)	館長講話	三七
(二)	他府縣陳列館トノ交換陳列	三七
(三)	不用參考品拂下	五七
(四)	記念販賣	五八
(五)	本館内ニ開催セシ集會	五八



(六) 文書及荷物收發件數……………六〇  
 (七) 寄贈ヲ受ケタル圖書……………六〇

附 錄

新潟縣主要物產概況……………一

新潟縣物產陳列館第拾壹年報

第一 沿革

本館ハ縣下產業ノ改良發達ヲ圖ルノ一機關トシテ明治三十四年縣費六萬五千五百參拾八圓ヲ以テ白山公園ニ隣接セル風光明媚ノ地ヲトシテ建設シ同年本縣主催一府十一縣聯合共進會ノ開催ニ際シ會場ノ一部ニ之ヲ充用シ閉會後更ニ會場ノ一部ヲ併セ翌三十五年六月二十五日

東宮殿下、行啓ノ吉辰ヲ以テ開館式ヲ舉行セリ

館長ハ始メ內務部第四課長石澤兵吾之ヲ兼テ次テ事務官佐柳藤太(三十五年九月兼任)內務部第四課長技師鏡保之助(三十五年十一月兼任)事務官佐柳藤太(三十八年二月兼任)事務官桑原八司(二十九年七月兼任)ヲ經テ現任工業技師長谷川鋼之允(四十年八月就職)ニ至リ專ラ本館ノ事務ニ從事スルコト、ナレリ

本館規則ハ開館以來多少ノ改廢ヲナシ來リシモ時勢ノ進運ニ伴ヒ其施設上改正ヲ要スルモノ少カラス同四十一年三月ヲ以テ一大改正ヲナシ主トシテ巡回陳列及調案調製ノ二項ヲ加ヘ爾來其面目ヲ一新スルニ至レリ



## 第二 諸規則

### (一) 新潟縣物産陳列館規則

(明治四十一年三月廿七日)  
告示第五百五十三號

#### 第一章 總則

- 第一條 本館ハ新潟市學校町通一番町ニ設置シ新潟縣物産陳列館ト稱ス
- 第二條 本館ハ縣下產業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トシ左ノ事項ヲ行フモノトス
- 一 參考上有益ナル内外國產出ノ物產ヲ陳列シ公眾ノ縱覽ニ供スルコト
  - 二 販賣ノ委托ニ應スルコト
  - 三 陳列品ノ貸與及分與ヲ爲スコト
  - 四 產業ニ關スル圖書ヲ蒐集シ公眾ノ閱覽ニ供スルコト
  - 五 產業上ニ關スル調査ノ依頼ニ應スルコト
  - 六 陳列品ニ關シ通商ノ紹介ヲ爲スコト
  - 七 本縣營業者ノ產業上必要ナル圖案調製ノ依頼ニ應スルコト
  - 八 洽ク公眾ノ縱覽ニ供スル爲メ參考品ノ巡回陳列ヲナスコト
  - 九 前各號ノ外產業上有益ト認ムルモノ

### 第三條 本館ノ陳列品ハ參考品及販賣品ノ二種トス

#### 第一參考品ハ左ノ三種トス

- 一 購入品 本館ニ於テ購入シタルモノ
- 二 寄贈品 營業者其他ヨリ本館ニ寄贈シタルモノ
- 三 委托品 營業者其他ヨリ見本又參考トシテ陳列ヲ委托シタルモノ
- 第二 販賣品 營業者ニ於テ販賣ノ爲メ陳列ヲ委托シタルモノ
- 第四條 參考品ニハ番號、品名、品質、數量、價格、產地、製造元、寄贈者若クハ委托者住所氏名其他參考上必要ト認ムル事項ヲ記載シタル附札ヲ添附ス

#### 第二章 出品及寄贈

第五條 本館ニ出品若クハ寄贈セントスル者ハ別記書式ノ目錄並ニ説明書ヲ差出シ本館ノ承認ヲ受クヘシ

第六條 左記ノ物品ハ出品若クハ寄贈スルコトヲ得ス

- 一 危險ノ虞アリト認ムルモノ
- 二 風俗壞亂ノ虞アリト認ムルモノ
- 三 衛生ニ妨害アリト認ムルモノ



四 他ノ物品ニ妨害アリト認ムルモノ

五 陳列ノ價值ナシト認ムルモノ

第七條 出品人若クハ寄贈者ニ於テ第五條ノ承認ヲ得タルトキハ堅牢ナル荷造ヲ爲シテ直ニ本館ニ送付スヘシ

第八條 出品物運送中ニ於ケル損害ニ對シテハ本館其責ニ任セス

第九條 出品人ハ入記目錄ヲ作り荷造ノ際函内ニ入レ置クヘシ

第十條 販賣品ニハ每品、番號、品名、數量、價格、產地及出品人氏名ヲ記載シタル附札ヲ添附スヘシ

第十一條 出品物到達シタルトキハ其旨本人ニ通知ス

第十二條 出品人ハ出品物ノ交換又ハ返還ヲ請求スルコトヲ得又本館ノ都合ニ依リ陳列ヲ中止シ又ハ撤去交換ヲナサシムルコトアルヘシ

第十三條 出品目錄及説明書記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其都度之ヲ本館ニ通知スルヲ要ス

第十四條 出品物ノ陳列及裝飾ハ本館ニ於テ適宜之ヲ定ム

第十五條 出品人ハ本館ノ承認ヲ得テ自費ヲ以テ特別ノ陳列及裝飾ヲ施スコトヲ得

第十六條 出品物ノ荷造運送ニ關スル費用ハ出品人ノ負擔トス

但時宜ニヨリ本館ヨリ支辨スルコトアルヘシ

第十七條 出品物ハ本館ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スヘシト雖トモ水火盜難其他避クヘカラサル事故ニ依リ生シタル損害ハ本館其ノ責ニ任セス

### 第三章 販賣

第十八條 販賣品ヲ購入セントスル者ハ其旨館員ニ申出ツヘシ

第十九條 販賣品ハ即時現金引替ニ交付スヘシ

第二十條 販賣品ト賣上代金ハ毎月一回精算シテ出品人ニ送附スルモノトス  
送金ニ關スル費用ハ出品人ノ負擔トス  
但館費ヲ以テ送付スルコトアルヘシ

### 第四章 貸與及分與

第二十一條 第三條第一號ノ購入品ハ本縣當業者若クハ産業ニ關スル團體ニ限り期限ヲ定メテ貸與シ又相當代價ヲ徴シテ分與スルコトアルヘシ

前項ノ貸與期間ハ一ヶ月以内トス但特別ノ事情アルトキハ延長スルコトアルヘシ

第二十二條 前條購入品ノ貸與若クハ分與ヲ望ム者ハ書面ヲ以テ本館ニ願出スヘシ



第二十三條 前條ノ貸與ヲ受ケタルトキハ別記様式ノ借用證ヲ差出スヘシ

貸與品ニ就テハ相當代金ヲ保證トシテ納付セシム但五圓以下ノ物品ニシテ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此限リニアラス

第二十四條 貸與及分與ニ要スル運搬費ハ之ヲ受クル者ノ負擔トス

第二十五條 貸與品ヲ紛失毀損又汚損シタルトキハ本館指定ノ價格ヲ辨賞セシムヘシ

第五章 圖書閱覽

第二十六條 本館ハ産業ニ關スル圖書及新聞雜誌等ヲ備ヘ縱覽人ノ閱覽ニ供スヘシ

第二十七條 圖書ヲ閱覽セント欲スル者ハ其圖書名、冊數及住所氏名ヲ記シ館員ニ申込ミ閱覽後ハ直ニ之ヲ返還スヘシ

但辭書類ノ外ハ一回一帙又五冊以内ニ限ル

第二十八條 閱覽ノ圖書ハ一切室外ニ携帯ヲ許サス

第二十九條 閱覽ノ圖書ヲ紛失毀損又汚損シタルトキハ本館指定ノ價格ヲ辨賞セシムヘシ

第三十條 圖書ノ館外借覽ニ關シテハ第二十一條第二項及ヒ第二十二條乃至第二十五條ノ規定ヲ準用ス

第六章 調査及通商

第三十一條 縣下産業上ニ關シ調査ヲ望ム者ハ其旨書面ヲ以テ本館ニ申出ツヘシ但調査ノ事項ニ依リ依頼ニ應セサルコトアルヘシ

第三十二條 陳列品ノ通商紹介ヲ望ム者ハ其旨書面ヲ以テ本館ニ申出ツヘシ

第三十三條 前二條ノ調査及紹介ニ對シテハ特ニ要スルモノ、外費用ヲ徴セス

第三十四條 新製品ノ縣外試賣ノ紹介ヲ求ムルモノアルトキハ本館ニ於テ適當ト認ムルモノニ限リ其勞ヲ取ルコトアルヘシ

試賣ニ關スル費用ハ依頼者ノ負擔トス但時宜ニ依リ本館ヨリ支辨スルコトアルヘシ

第七章 圖按調製

第三十五條 本縣當業者ニシテ其産業上必要ナル圖按調製ヲ望ムモノハ左ノ事項ヲ記載シタル依頼書ヲ差出スヘシ

但調製ノ必要ナシト認ムルモノ又ハ事故アルトキハ之ニ應セサルコトアルヘシ

- 一 圖按ヲ應用スヘキ物品ノ名稱、品質、色彩、寸法、用途及價格ノ豫定
- 二 圖按ヲ應用スヘキ物品ノ需用地及需用者ノ種類
- 三 前各號ノ外必要ナル事項

第三十六條 圖按ハ無料ニテ之ヲ交付ス但圖按調製ニ要スル材料ヲ提供セシムルコトアル



ヘシ

第三十七條 圖按ハ特ニ必要ヲ認ムルモノ、外同時ニ二種以上ノ依頼ニ應セス

第三十八條 圖按調製上必要アルトキハ其應用スヘキ物品ヲ提供セシムルコトアルヘシ

前項物品ノ運送ニ要スル費用ハ依頼者ノ負擔トス

第三十九條 前條ノ物品ハ相當ノ保護ヲナスト雖トモ紛失毀損等ニ對シテハ本館其責ニ任セス

第八章 縦 覽

第四十條 本館ノ縦覽ハ毎日午前九時ヨリ午後四時迄トス

但本館ノ都合ニ依リ觀覽ヲ停止シ又ハ臨時休館スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ之ヲ門前ニ公示ス

第四十一條 瘋癲又ハ醉狂者ト認ムル者若クハ他ノ縦覽人ノ妨害ヲ爲ス行爲アリト認ムル者ハ入場ヲ拒絶シ又ハ退場セシムルコトアルヘシ

第四十二條 縦覽人ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一、畜類ヲ率キ入場スヘカラス

二、館員ノ許諾ヲ經スシテ陳列品ニ手ヲ觸ルヘカラス

三、物品ヲ毀損シ又ハ汚損シタル者ハ本館指定ノ價格ヲ辨償セシムヘシ

四、危險ノ虞アル物品ヲ攜帶スヘカラス

五、本館ノ承諾ヲ得スシテ陳列品ヲ撮影又ハ摸寫スルコトヲ得ス

六、揭示事項又ハ館員ノ注意ニ從フヘシ

第四十三條 縦覽人ニ於テ陳列品ノ説明ヲ求メントスルトキハ館員ニ申出ツヘシ

第九章 巡回陳列

第四十四條 本館ハ左ノ場合ニ於テ參考品ノ巡回陳列ヲ行フ

一、縣下實業團體其他ノ請求アリタルトキ

二、本館ニ於テ必要ヲ認メタルトキ

前項第一號ノ場合ニハ本館ニ於テ其ノ必要ヲ認メサルトキ又ハ事故アルトキハ其請求ニ應セサルコトアルヘシ

第四十五條 前條第一項ノ場合ニハ陳列看守ニ關スル經費ハ請求者ノ負擔トシ運搬ニ要スル費用ハ本館之ヲ支辨ス

第四十六條 請求者ハ陳列品到着後直ニ期間ヲ附シタル借用證ヲ差出スヘシ

第四十七條 陳列品到着後及返送中ニ生シタル損害ハ避クヘカラアル災害ニ基クノ外ハ請







借用證書

品名	数量	量	價	額

右參考トシテ本ヨリ向フ何日間保證金若干ヲ提供シ借用致候ニ付テハ期限内ト雖モ御示達次第何時ニテモ返納可致萬一亡失毀損致候場合ハ御指圖ニ基キ其損害額ヲ賠償致スヘク候也

年 月 日

住所 職業

氏

名 印

新潟縣物産陳列館長氏名宛

(二) 新潟縣物産陳列館職制 (明治四十一年三月二十七日)  
(縣令第二四號)

第一條 新潟縣物産陳列館ニ左ノ職員ヲ置ク

館長

技藝員  
 幹事  
 書記

第二條 館長ハ知事ノ命ヲ受ケ館務ヲ掌理ス

第三條 技藝員ハ技藝ニ關スル事項ニ付キ館務ヲ補佐ス

第四條 幹事ハ館長ヲ補佐シ館長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第五條 書記ハ上司ノ指揮監督ヲ承ケ館務ニ従事ス

第六條 技藝員ハ知事之ヲ囑トス

(三) 新潟縣物産陳列館處務規程 (明治四十一年三月二十八日)  
(訓第一八六號)

第一條 館長ハ書記ノ進退賞罰ヲ知事ニ具申スルコトヲ得

第二條 館長ハ左ノ事項ニ限リ之ヲ專行スルコトヲ得

一、守衛看守人以下ヲ進退シ並ニ人夫職工ノ雇入ニ關スルコト

二、部下職員ノ管内出張ニ關スルコト

三、職員守衛看守人以下ノ願届ヲ處理スルコト



- 四、出品物ノ受理及返送ニ關スルコト
- 五、參考品ノ分與ニ關スルコト
- 六、參考品及圖書貸與保證金ノ出納保管ニ關スルコト
- 七、販賣品賣上代金ノ取扱ニ關スルコト
- 八、前各號ノ外輕易ナル事項
- 第三條 館長ハ館務ニ關シ其名若クハ館名ヲ以テ本廳所屬ノ各廳解、管内外郡市町村役場、他府縣物產陳列場、各團體又ハ當業者ト文書ノ往復ヲナスコトヲ得
- 第四條 館長ハ毎月販賣品受入賣却ノ數量、價額、圖按調製依頼件數並ニ作成件數及觀覽人員ヲ調査シ翌月十日限り知事ニ報告スヘシ
- 第五條 館長ハ毎年四月限り前年ノ館務報告ヲ編纂シ知事ノ認可ヲ經テ之ヲ發行スヘシ
- 第六條 館長ハ處務細則ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受クヘシ

### 第三 職員

大正元年末ニ於ケル現在職員左ノ如シ

園	看守	看守	同	同	同	同	書	本館	幹	技	館
丁	人	衛					記	勤務	事	藝	長
								同			新潟縣工業技師
								工業			長谷川
								技手	缺	缺	銅之允
一	十	二	行	若	黑	山	清	藤	缺	缺	
名	名	名	田	槻	崎	田	水	卷			
				覺	又	稻	省	清			
					四	城	次	次			
					郎	吾	郎	郎			
					茂	知	郎	郎			
					名	名	名	名			



第四 敷地及建物

(一) 敷地

種目	坪數	價額	地目
敷地	二千八百八十九坪九合七勺	一八、五七一、二九八 <small>円</small>	官有地 第三種

(二) 建物

種類	坪數	建築價額	構造	造法
本館	階上 一六五、〇〇坪 階下 一六五、〇〇坪	一五、三二七、三〇七 <small>円</small>	石盤葺	洋造

本館ノ建物ハ明治三十四年ノ建築ニシテ本館階下並ニ第一號館ハ參考品ノ陳列場、第二號館ハ販賣品ノ陳列場ニ充テ本館樓上ハ産業上其他有益ナル集會場ニ充テツ、アリ又構内ニ天然瓦斯井アリ之ヲ利用シテ晝間ハ燃料ニ供シ夜間ハ點燈ニ用フ今建物ノ種類ヲ細別スレハ左表ノ如シ

第五 經常費豫算

(大正元年度)

種目	坪數	價額	構造	造法
第一號館	三六六、〇	一一、八五〇、六七七	亞鉛板葺	和造
第二號館	三六六、〇	一一、八〇〇、六七七	同	同
事務所	一〇七、〇	三、五三四、四〇九	同	同
巡查派駐所	六、〇	三六〇、七三一	同	同
八角便所	三、〇	一三二、〇四八	瓦葺	和造
八角便所	三、三	二一七、六五四	亞鉛板葺	和造
兩便場所	三、三	二一七、六五四	同	同
兩便場所	六、〇	九八、九〇五	同	同
揭便場所	六、〇	九八、九〇五	同	同
消防器具置場	六、〇	二六、七八〇	和	造
物置	二一、〇	九七、二一六	亞鉛板葺	和造
東屋	二一、〇	一二〇、〇〇〇	和	造
附屬建物	三七、五	五八〇、〇〇〇	和	造
合計	一、二七一、六	四四、六六二、三八〇	亞鉛板葺	和造



科 目	本年度豫算高	前年度豫算高	比	
			増	減
物産陳列館費	一、六八二、〇〇〇	一、六〇六、〇〇〇	七六、〇〇〇	
第一目 俸給	二、五〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇		
第二目 雜給	二、六七一、〇〇〇	二、六五九、〇〇〇	一二、〇〇〇	
第三目 館費	一、七四四、〇〇〇	一、六八〇、〇〇〇	六四、〇〇〇	
第四目 參考費	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇		
第五目 惠與	六七、〇〇〇	六七、〇〇〇		
第六目 修繕費	一、七〇〇、〇〇〇	一、七〇〇、〇〇〇		

### 第六 館務ノ梗概

方今内外産業ノ進展頗ル迅速ニシテ加フルニ交通機關ノ發達ハ益其競争ヲシテ激烈ナラシム、本館ハ此變轉極リナキ産業界ヲ監視研究シテ當業者ノ指針タルヘキ責務ヲ有スルヲ以テ常ニ競争品ニ對シテ注意ヲ怠ラズ、生産ノ狀況及販路ノ關係ニ就キ之ガ調査ニ努メ或ハ通商ノ紹介ニ力ヲ致シ、又參考品ハ内外ニ亘リテ最新ナルモノヲ蒐集シ急速研究ヲ要スルモノハ特ニ當業者ノ回覽ニ付シ屢々地方ニ巡回陳列ヲ舉行スル等其活用ヲ計リ、以テ當業

者ノ利益ニ資スルニ勉メタリ、當業者亦漸次本館ノ趣旨ヲ諒解シテ其利用愈盛ナルニ至リシハ本縣産業界ノ一進歩トモ謂フベキ乎、  
 委託販賣ハ物産紹介上、實物廣告トシテ最、歡迎セラル、モノ、如ク、本年ハ一般財界ノ不況ト最、悲ムベキ諒闇中トノ爲ニ縣下産業界甚シキ不振ノ状態ナリシニ拘ラズ販賣高壹萬四千四百八十四圓九十四錢五厘ノ巨額ニ達シ前年ニ比シテ壹千餘圓ヲ増加セリ、隨テ出品物モ益精選豊富ナルニ至レリ、  
 本館ノ位置ハ從來聊カ僻在ノ憾アリシガ本年近傍ニ越後鐵道白山停車場ノ設置セラル、ニ及ヒ來觀者ノ便ヲ加ヘタリ、

### 第七 開館日數及觀覽人員

(一) 開館日數及觀覽人員

(四十五年 中大正元年)

月	次	開館日數	觀覽人員	一日平均人員
二	一	二九	三、三七七	一一六
月	月	二九	四、〇七五	一四一



(二) 開館日數及觀覽人員累年比較表

年次	開館日數	觀覽人員	一日平均人員
三三三	一七五	四三、四四九	二四八
三三三	三四三	四六、七八五	一三六
三三三	三四二	五三、三八八	一五六
計	三六〇	一四六、一五二	四〇六
三	三一	一一、五四二	三七二
四	三〇	八、六六一	二八九
五	三一	一八、六二五	六〇一
六	二九	六一、七七九	二、一三〇
七	三一	五、九七二	一九三
八	三一	七、三〇七	二三六
九	二七	六、六六六	二四七
十	三一	七、三九五	二三八
十	三〇	七、三七六	二四六
十	三一	三、三七七	一五一

第八 參考品ノ狀況

(大正元年末現在調)

三三三	三六二	二〇三、〇一九	五六一
三三三	三五八	八〇、六二八	二二五
三三三	三五九	七九、九二九	二二三
三三三	三六二	九一、八五三	二五四
三三三	三六二	一〇二、八九〇	二八四
三三三	三六二	一四一、六六九	三九一
三三三	三六二	一五八、四八五	四三八
三三三	三六〇	一四六、一五二	四〇六

明治四十五年大正元年中ニ於テ購入及寄贈並ニ委託ヲ受ケタルモノノ合計壹千九百九拾六點此價額參千八百拾七圓九錢九厘ニシテ數年前ノ購入ニ係リ、變質又ハ陳列ノ價值ヲ失ヒタル爲メ賣却シタルモノ貳百五拾八點此價額七百八拾參圓九拾壹錢九厘ニシテ本年末ニ於ケル總現在高ハ内國產八千六百七點外國產壹千八百四拾六點合計壹萬四百五拾參點此價額貳萬七千八百五拾壹圓參拾壹錢壹厘七毛ナリ之ヲ大別スレハ左ノ如シ



種 類	數 量	價 額	重 量	產 地
絹綿交染織物	壹	一七、一七〇		東京府、新潟縣、愛知縣、茨城縣、栃木縣、岐阜縣、群馬縣
綿染織物	一七	二二、三五五		東京府、新潟縣、愛知縣、茨城縣、栃木縣、岐阜縣、群馬縣、德島縣
麻染織物	四	三、一五〇		新潟縣、滋賀縣、石川縣
毛染織物	七	二七、〇五〇		愛知縣、新潟縣
雜染織物	四	一三、六〇〇		東京府、京都府、新潟縣、栃木縣、山形縣
金屬製品	三九	一、〇五〇、七〇		東京府、京都府、新潟縣、埼玉縣、秋田縣、獨逸、米國
木竹製品	二六	一三、七四〇		東京府、新潟縣、青森縣、北海道、獨逸
雜工製品	一〇	三、六〇〇		東京府、新潟縣、獨逸
農用機械器具	一六	一六、九二〇		東京府、獨逸、米國
農藥	八	八、一〇〇		東京府、青森縣
林業圖書	一〇	一、五〇〇		東京府
美術工藝圖書	二	七、六五〇		東京府
商業其他圖書	七九	八、四九〇		東京府、愛知縣、米國、英國、佛國、獨逸
合計	八八七	三、七七、五〇七		東京府

高在現品考參		種 類	數 量	價 額	重 量	產 地
合 計	委 寄 購 托 贈 入 品 品 品		一〇、四五三			
			八、七四二			二四、四〇五、七九二、七
			一、〇一六			二、五三〇、七九六、〇
			六九五			九一四、七二三、〇
			二七、八五一、三一七			

(一) 購入參考品

(四十五年 中)

種 類	數 量	價 額	重 量	產 地
製作用木竹材	一〇	二四、〇〇〇		新潟縣、福嶋縣、秋田縣、北海道
礦物及土石	一	五、〇〇〇		青森縣
化學製品	二	二、六〇〇		東京府
七寶及珠瑯品	二	一三、〇〇〇		獨逸
紙及紙製品	一	七、三〇〇		新潟縣
塗染織物	三	七、〇一〇		東京府、京都府、靜岡縣、石川縣、島根縣、青森縣
絹染織物	一七	一、五〇〇、二五三		東京府、京都府、山形縣、茨城縣、滋賀縣、秋田縣、富山縣、山梨縣、埼玉縣、新潟縣、福嶋縣、岐阜縣、群馬縣、福井縣、栃木縣



品名	數量	價額	住所	氏名
柔魚鹽辛罐詰	一	四〇〇	西頸城郡能生町	縣立能生水產學校
敷物見本	二三五	一〇〇	新潟市	全
冷鐵鑛泉瓶入	二	二〇〇	岩船郡鹽野町村	中
機那サヲラシ酒	四	三〇〇	古志郡上組村	吉
唐箕	一	一〇〇	高田市	竹
全用具	一	一五〇〇	全	全

(四) 參考品委託者氏名

(大正十五年 中)

品名	數量	價額	住所	氏名
兩用各錄	一	一四三三〇	中頸城郡直江津町	長谷川 建治
ナイフ	四〇	九、五二二	南蒲原郡三條町	岩崎 又造
印	一三	八、三四〇	西蒲原郡味方村	味方農具共同製造販賣所 代表者 館野牛五郎
合計	五四	一九、一九二		

(三) 參考品寄贈者氏名

(大正十五年 中)

(二) 農商務省商品陳列館貨品

(大正十五年 中)

品名	數量	價額	重ナル產地
製造食品	一五		大分縣、千葉縣
化學製品	一		大分縣
紙及紙製品	元		愛知縣、長野縣、岐阜縣、米國、獨逸
塗及紙類	〇		奈良縣、佛國、獨逸
糸及綿類	一		伊國
絹織物	三		英國、佛國、獨逸、印度
絹織物	一		佛國
綿織物	五		獨逸、米國
刺繡及天鵞絨類	二		佛國
陶磁器	二		獨逸、佛國
木竹製品	五		獨逸、佛國、福井縣、大分縣、青森縣、岐阜縣、兵庫縣、英國、獨逸、佛國
雜工製品	六		獨逸、佛國、愛知縣、富山縣、兵庫縣、神奈川縣、廣島縣、香川縣
金屬製品	一		獨逸、佛國、獨逸
合計	三七		大坂府



一森式坐椅子	七、五〇〇	新海市
竹式書架	四、七五〇	全
市橋式通架	二五〇	佐渡郡加茂村
萬石	三、〇〇〇	西蒲原郡小池村
合計	二〇、四〇〇	
		館 信 吾
		全 橋 長 作
		市 水 伊 太 郎

(五) 參考品貸與

(四十五年 中)

當業者ノ參考ニ資スル爲メ參考品ヲ貸與セシコト左ノ如シ

貸與件數	六件
種類	糸及綿、羊毛、染織物、漆器、金屬製品、木竹製品、雜工作品、雜用機械器具
數量	五十八點
價額	百貳拾貳圓參拾錢四厘六毛

(六) 參考品分與

(四十五年 中)

當業者ノ參考ニ資スル爲メ參考品ヲ分與セシコト左ノ如シ

分與件數	五件
------	----

種類	人造絹糸、絹織物、雜工作品、顏料、溶解コーパル
數量	八點
價額	拾參圓貳拾七錢五厘

(七) 圖書貸與

(四十五年 中)

當業者ノ參考ニ資スル爲メ貸與シタル圖書左ノ如シ

貸與件數	八十九件
種類	美術工藝圖書、商工業圖書、其他雜書
冊數	三百二十九冊

(八) 圖書閱覽

(四十五年 中)

來觀人ノ閱覽ニ供シタル圖書左ノ如シ

閱覽人員	百十七人
種類	特許、商標公報類、商工業農業圖書其他雜書
冊數	九百四冊

(九) 陳列品ノ説明

(四十五年 中)

參考品其他ノ陳列品ニ付説明ヲ與ヘタルモノ左ノ如シ



申込件數	七十六件
種類	漆器、金屬製品、染織物、特許機械類、其他一般陳列品

(十) 參考品ノ回覽 (四十五年 中)

參考品ノ活用ヲ遺憾ナカラシメンガ爲メ流行變遷ノ急激ナルモノ又ハ特ニ注意ヲ要スヘキモノハ購入後直ニ當業者ニ送付シテ回覽ニ供セシニ之ニヨリ新製品ヲ作成シタルモノ少カラズシテ其効果ノ多大ナルヲ認ム而シテ其回数等ハ左ノ如シ

回覽	七拾二ヶ所
種類數	染織物、漆器、金屬製品、雜工作品、參考圖書等
回数	十七回
點數	百九十二點

第九、巡回陳列 (四十五年 中)

參考品ノ効果ヲ普及セシムル爲メ各地ニ其巡回陳列ヲ行ヒタルコト左ノ如シ

巡回數	四回
-----	----

種類	漆器、染織物、金屬製品、木竹製品、雜工作品等
點數	三百十六點
價額	壹千貳百貳拾六圓四拾四錢八厘七毛
巡回地	高田市、刈羽郡柏崎町、中蒲原郡龜田町、全村松町

第拾 調査及通商紹介 (四十五年 中)

當業者ノ依頼及本館ノ必要ト認ムル所ニヨリ産業上ノ調査及通商ノ紹介ヲ爲シタルコト左ノ如シ

(一) 調査

件數	二十五件
種類	漆器、染織物、金屬製品、マニラ麻、特許品、商標、其他

(二) 通商紹介

件數	十四件
種類	漆器、金屬製品、陶磁器、食料品、染織物、印刷物等



第十一 圖案調製

(大正十五年 中)

縣產業上ノ意匠圖案ノ改良ヲ圖ランガ爲メ無料ニテ調製ノ依頼ニ應シ本年中作成シタルモノ左ノ如シ

依頼件數	百二十件
作成件數	百十七件
圖案種類	染織物、漆器、金屬品、陶磁器、木竹製品、菓子、印刷物等

第十二 委託販賣品ノ狀況

(大正十五年 中)

明治四十五年大正元年中ニ於ケル委託販賣ノ販賣高四萬六千四百九拾九點此價額壹萬四千四百八十四圓九拾四錢五厘ニシテ金屬製品其首位ヲ占メ七千四百九十點三千六百一十一圓七十錢五厘ニシテ之ニ次グモノハ染織物二千五百九十點價額三千圓十五錢五厘、漆器三千五百八十一點價額二千八百七十八圓二十二錢ナリトス今開始當時ヨリ本年ニ至ル販賣高ノ累年比較ヲ掲グレバ左ノ如シ

(一) 販賣點數價額累年比較表

年次	開館日數	販賣點數	販賣價額	點數	日平均價額
三十五年	一七五	九,四三九	四,四二六,七〇〇	五四	二五,二九五
三十六年	三四三	一三,五五三	五,三四八,五四九	四〇	一五,五九三
三十七年	三四二	一三,一一二	四,四三九,一〇八	三八	一二,九八〇
三十八年	三六二	二二,七一六	六,六四一,七四一	六三	一八,三四七
三十九年	三五八	二二,六六五	七,二四五,〇九二	六六	二〇,二三八
四十年	三五九	二四,二五六	八,三四〇,七九二	六八	二二,二二三
四十一年	三六二	三六,四八七	一二,九六一,五四三	一〇一	三五,八〇五
四十二年	三六二	三五,七六九	一一,八〇九,五二〇	九九	三二,六二三
四十三年	三六二	三七,四二四	一二,一五九,四三七	一〇三	三三,五九〇
四十四年	三六二	四〇,五〇二	一三,四一一,二三〇	一一二	三七,〇四八
四十五年	三六〇	四〇,六四九	一四,四八四,九四五	一一三	四〇,二三六

(二) 委託販賣品販賣高月別表

品名	月次	點數	價額
染織物	一月	五,六八五	二,五九一
	二月	九,二〇五	三,九八五
	三月	一三,三三三	五,九三三
	四月	一五,四四五	六,八四五
	五月	一五,五七〇	六,九七〇
	六月	一九,四〇〇	八,七七一
	七月	一七,三三五	七,八七五
	八月	一五,〇〇〇	六,五〇〇
	九月	一五,〇〇〇	六,五〇〇
	十月	一〇,一七〇	四,一七〇
	十一月	一三,八〇〇	五,八〇〇
	十二月	一三,〇〇〇	五,〇〇〇
計		一三〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇







計	雜工 作品	
	全	全
五三一、八三〇、六六〇	四七、二〇〇	四七、二〇〇
一、四四六、一八〇、六六五	六〇、八六〇	六〇、八六〇
一、〇〇五、六五五	一、三、九三三	一、三、九三三
三、三八〇、〇九〇	一、五、〇二〇	一、五、〇二〇
一、二七、八五三、二九〇、〇〇〇	一、〇、〇八五	一、〇、〇八五
八、六六四、一、五八六、八五〇	二、五、六七〇	二、五、六七〇
二、八九九、一、四八五、五九〇	九、七、五五〇	九、七、五五〇
三、八七五、三、八七五、〇〇〇	九、一、二七〇	九、一、二七〇
二、六五九、三、〇七四、三二〇	八、一、七九〇	八、一、七九〇
二、二、九七五、二、九七五、〇〇〇	九、六、七六五	九、六、七六五
三、〇七四、二、九七五、〇〇〇	五、〇、三七〇	五、〇、三七〇
二、二、三六六、二、二、三六六、〇〇〇	五、〇、八八〇	五、〇、八八〇
一、四、四八四、一、四、四八四、〇〇〇	一、一、七三三	一、一、七三三
四、〇、六四九、四、〇、六四九、〇〇〇	四、〇、六四九	四、〇、六四九

(三) 委託販賣品受拂表

品名	越前 高年	本年 出品高年	計	本年 販賣高年	本年 引下高年	計	越次 年高
染織物	三、七三五、五七〇	四、九七三、八三五	八、七〇九、四〇五	三、〇〇〇、一五五	二、二七七、三七〇	五、二七七、五五五	三、四三三、八八〇
編織物	一、四三三、七七〇	八〇、五八〇	一、五一四、三五〇	五二、六〇〇	二六、六八〇	一、四八七、七五〇	一、四八七、七五〇
漆器	五、〇八二、七四五	五、〇八三、九八〇	一〇、一六六、七三五	二、八七八、二〇〇	一、二六六、四九〇	四、一四四、七一〇	六、〇二二、〇一五
金器	七、一四六	七、八五七	一五、〇〇三	七、四六〇	一、六八一	六、五五二、八八五	五、八三三
玉屬	四、四〇九、五二〇	六、五三九、六八五	一〇、九四九、二〇五	三、二八一、七〇五	三、三三〇、一八〇	六、五五二、八八五	四、三九七、三三〇
陶磁器	四、四九三、三〇〇	二、六二一	七、一一四、六二一	三、八八一	二、四、九七〇	二、五、八四一	五、五、四七一

品名	越前 高年	本年 出品高年	計	本年 販賣高年	本年 引下高年	計	越次 年高
玻璃製品	二、三、三九三	四、四四五	六、七八八	二、九、一三一	二、〇、六八八	八、八一九九	一、五、五五〇
木竹製品	七三九、五五〇	一、六六六、三六〇	二、四〇五、九一〇	一、〇、〇七〇	三、七、九〇〇	一、三八八、五九五	一、〇、七三二
紙及紙製品	一九、四〇五	一、八一五、〇〇〇	一、九〇九、四〇五	二、九、九〇〇	七、三、〇〇〇	一〇、二、〇〇〇	二、七、三〇〇
靴	九〇、八〇〇	五、八〇〇	九五、六〇〇	五、八〇〇	九〇、八〇〇	一〇、〇〇〇	八、六〇〇
下駄	一、九五、七〇〇	三、〇〇〇	二、〇五二、七〇〇	七、七、八七〇	一、五、四八五	九、三、三五五	二、〇、〇五五
麻裏草履	二、六、九二五	六、四〇〇	九、〇二五	二、七、五四五	〇、〇〇〇	二、七、五四五	五、四六〇
足袋	一、二七、五八五	一、八八、三三五	三、一六三、九二〇	一、六、〇〇〇	六、〇三五	一、六七〇、五五五	二、四、八四五
吳産	四、一〇〇	九、六〇〇	一〇、七〇〇	一〇、七〇〇	〇、〇〇〇	一〇、七〇〇	一〇、九八〇
疊表	八、九、三六〇	二、八五〇	一、一、二一〇	九、〇〇〇	八、三、五五〇	一、八、四五〇	七、七六〇
傘	九三、六七五	一、五八、〇四五	一、五一、七二〇	一、四、〇〇〇	三、五、〇〇〇	一、七五、七二〇	七、六、一四五
筆	九七、七二九	四、七、七五〇	四、八、四七九	五、三、九四五	一、八、六〇〇	五、五、八四五	八、九、六七四
化粧粧品	一、六四、九九五	二、六、六〇〇	四、三、〇九五	二、〇、〇〇〇	八、三、〇九五	二、八、六〇〇	一、四、三、六七〇







































全	全	全	全	全	全	雜 工 作 品	白 玉 粉	全	全	全	醬 油	清 酒	全	全	葡 萄 酒	全	全
一 二	六 六 六	七 四	四 七 九	二 七 四	一 三 六	一 五 元	一 五 四	八	七	七	二	一 七 一	一 一	二 四	一 五 四	一 〇 一	一 五 九
四 二 〇 〇	一 一 七 二 五 五	二 六 六 一 〇	一 〇 五 五 〇	一 三 六 〇 一 〇	一 三 六 〇 一 〇	五 七 八 三 七 〇	二 六 〇 〇	一 六 〇 〇	一 四 〇 〇	一 四 〇 〇	四 〇 〇	二 九 一 七 〇	二 五 九 〇	八 一 六 〇	九 二 〇 〇	二 八 〇 三 〇	
一 八	三 六 〇 〇	五 八 一 三 〇	八 八 六 六 〇	八 二 一 三 〇	八 七 二 二 〇	五 二 〇 〇	九 三 七 八 〇	五 五 五 五	二 四 〇 〇	八 〇 〇	四 〇 〇	八 〇 〇	一 五 七 五 〇	九 一 四 〇	一 〇 五 六 〇	一 四 五 〇 五 〇	
全	全	全	全	全	全	全	新 潟 市	西 蒲 原 郡 太 田 村	全	全	北 蒲 原 郡 乙 村	三 島 郡 關 原 村	岩 船 郡 鹽 野 町 村	古 志 郡 上 組 村	中 頸 城 郡 高 士 村	南 蒲 原 郡 大 面 村	中 頸 城 郡 斐 太 村
風 間 正 太 郎	青 木 佐 太 郎	今 井 實 作	山 口 喜 助	市 嶋 新 吉	瀧 澤 清 市	白 井 愨 七	竹 野 金 平	深 海 重 藏	井 上 才 藏	細 野 捨 次 郎	阿 部 嘉 平	川 口 辰 太 郎	中 山 太 治 郎	吉 澤 仁 太 郎	川 上 善 兵 衛	土 田 辰 治	田 中 七 十 郎

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一 〇 〇	一 〇 三	六 九	三 七 四	六 九 七	三 九	三 一	三 三 六	八 八	一 七 〇	一 〇	五 八	一 九	三 九	二 二	三 八	一 四 七	九 四 〇
二 〇 七 三 〇	一 四 四 二 〇	三 四 九 二 〇	四 八 六 〇 〇	一 一 三 七 二 〇	六 四 九 〇	六 九 一 〇	七 四 八 六 〇	二 七 八 〇 〇	二 二 六 六 〇	一 六 〇 〇	一 三 二 八 〇	八 五 五 〇	四 五 二 五	六 七 五 〇	一 二 二 五 〇	五 二 〇 八 〇	一 六 四 三 二 〇
三 六	六 二	九 六	一 九 九	一 九 九	一 四 八	七	一 七 九	三 六	一	四 四	一 六	一	一	一	一	三 一	一 六 九
七 七 一 〇	七 九 四 五	三 九 八 八 〇	二 三 八 三 〇	六 八 八 九 〇	一 九 六 六 〇	一 七 二 〇	四 九 五 二 〇	一 一 七 五 〇	一 三 〇	一 〇 七 八 〇	七 二 〇 〇	七 二 〇 〇	四 五 〇	四 五 〇	一 三 〇 三 〇	三 二 〇 八 〇	
遠 藤 市 治 郎	松 木 松 榮	山 田 忠 治	新 潟 縣 立 能 生 水 產 學 校	新 潟 縣 水 產 試 驗 場	小 川 駒 吉	濱 松 卜 吉	高 橋 孫 左 工 門	岡 勝 平	野 澤 作 次 郎	今 井 藤 治 郎	風 間 健 吉	大 塚 久 太	金 卷 初 藏	伊 藤 真 次 郎	太 田 新 太 郎	佐 藤 長 藏	蒲 田 定 四 郎







十二月廿五日ヨリ翌年一月七日迄參考品中不用ニ屬シタルモノヲ一室ニ陳列シテ割引販賣  
ヲナセシニ十二月中ノ販賣高貳百四拾七點價額四百參拾參圓貳錢五厘ニ達セリ

(四) 記念販賣

六月廿二日、本館開館第十周年記念式ヲ舉行シ引續キ三日間景品付記念販賣ヲナセシニ三  
日間ノ販賣高四千五百八拾貳點此價額壹千七百貳拾四圓六拾四錢ニ達シ來觀人員ハ參萬貳  
千六百七拾七人ヲ算シタリ

(五) 本館内ニ開催セシ集會

産業上ノ各種集會ニハ本館階上等ヲ無料ニテ貸與シ努メテ便宜ヲ與ヘツ、アリ、本年中ニ  
開催セシモノ左ノ如シ

- 一 月 新潟市官民合同新年祝賀會
- 同 新潟市漆器同業組合總會
- 同 新潟漆工會第拾回競技會
- 三 月 新潟染織同業組合染織講習會
- 同 新潟染織同業組合染織試驗所開所式
- 四 月 第十一回新潟漆工會競技會

- 同 五月 月
- 同 六月 月
- 同 七月 月
- 同 八月 月
- 同 十月 月
- 同 十一月 月

- 新潟縣染織同業組合聯合會總會
- 愛國婦人會新潟幹事部會員總會
- 第五回寫真展覽會
- 新潟縣漆器染織聯合共進會
- 新潟縣衛生品展覽會
- 新潟縣理髮業者聯合大會
- 第二回漆器講習會
- 新潟縣染織同業組合聯合會
- 新潟縣染織同業組合聯合會總會
- 專賣局新潟分工場管内煙草小賣人表彰式
- 第三回新潟漆工會總會
- 第十二回新潟漆工會競技會
- 第三回新潟漆工會試作品陳列會
- 新潟縣酒造組合聯合會
- 金澤市生産品紹介陳列會



















# 新潟縣主要物產概況



柏	新	新	北	種	農	農
	鴻			苗		林
崎		鴻	越	家	種	
	每		營		苗	
		日		業	便	代
	日	新	新	案		價
	新					
報	開	開	報	內	覽	表
全	全	全	每	全	壹	參
			號		冊	冊
柏	新	新	北	百	東	日
崎	鴻	鴻	越	花	京	本
	每			園	興	種
	日	新	新	種	農	苗
報	日	開	報	苗	農	株
	新	報			式	會
社	開	社	社	場	園	社



### 新潟縣主要物產概況

新潟縣ハ越後及佐渡ノ二國ヨリ成リ之ヲ三市十六郡ニ分ツ、其面積八百二十四方里、海岸線百三十六里、人口百八十五萬餘ナリ、信濃川、阿賀川其他大小河川貫流スル所越後ノ沃野ヲナシ、各種ノ物產甚豊富ナリ、左ニ其主要物產ノ概況ヲ述ヘントス

米 年産額 二百四十萬石

本縣ノ米産額ハ全國ノ主班ニ在リ、縣ハ之カ獎勵ニ最力ヲ致シ、輸出米検査ノ制ヲ設ケ米券倉庫ノ設立ヲ獎勵シ近來著シク其聲價ヲ昂ムルニ至レリ、主ナル仕向地ハ北海道、東京、長野縣、群馬縣、山梨縣ヲ主トシ其他二府十五縣ノ廣キニ及ヘリ

果 實 年産額 百六十七萬圓

本縣果實ヲ産スルト頗ル多ク就中梨ヲ以テ名産トシ其年産額六十七萬圓ニ達ス、主ナル種類ハ早生赤、晚三吉ナリ、甘味ニシテ漿液ニ富ミ、且ツ翌春四五月マテ貯藏ニ堪フル主販路ハ北海道、東京、名古屋等ニシテ遠ク露領沿海州ニ輸出スルニ至レリ、柿モ其年産額四十三萬圓ニシテ全國ニ冠タリ、其他梅、桃、栗、苹果、葡萄、無花果、櫻桃ノ産出亦少カラス



繭

年産額 九萬四千石

原蠶種製造所ヲ設ケテ種類ノ統一ニ努メ漸次優品ヲ出スニ至レリ主販路ハ長野縣、群馬縣ナリ

蠶糸

年産額 三百十二萬圓

本縣ノ蠶糸ハ器械製多キヲ占メ年額二百十九萬圓ニ達ス、器械生糸ハ多ク海外輸出トシテ横濱ニ搬出ス、座操糸及玉糸ハ縣内ニテ使用ス

林産物

年産額 三百十八萬圓

用材、年産額百五十三萬圓ニシテ杉、松ヲ重ナルモノトス、杉ハ西頸城郡、岩船郡、東蒲原郡、松ハ、佐渡郡ヲ主産地トス、然レトモ一般ニ産出少ク建築家具、石油箱等ノ用材ノ福嶋、山形、秋田、北海道ノ各地方ヨリノ輸入年々五十萬圓ヲ超ユ

薪材、年産額八十四萬圓ナレトモ縣内ノ需要ヲ充タスニ過キス、岩船郡、中魚沼郡、中頸城郡、東蒲原郡ヲ主産地トス

木材、年産額七十四萬圓ニシテ東蒲原郡、佐渡郡、岩船郡ヲ主産地トシ、縣内ヲ販路トス  
竹材、年産額九萬圓ニシテ佐渡郡ヲ主産地トス、北海道ニ輸出ス

水産物

年産額 三百十五萬圓

沿海漁獲高ハ百六十七萬圓ニシテ主ナル漁獲物ハ鮭二十三萬圓、真鱈二十一萬圓、鯛十九萬圓、鯨十四萬圓、鮪十萬圓、柔魚十萬圓、鱒七萬圓、鱈六萬圓、鯖五萬圓ナリ

遠洋漁獲物ハ百萬圓ニシテ遠洋漁船ハ主トシテ新潟港ヨリ出テ帆船、汽船合セテ百四十隻ヲ算ス、漁區ハ露領沿海州及オコソク海ニシテ漁獲物ノ主ナルモノハ鮭、鱒、鯨等トス  
水産製物ハ四十八萬圓ニシテ鱒十八萬圓ヲ始メトシ、鯉節、乾鱒、鹽鱒、肥料鱒、之ニ次キ鱒詰、鹽辛、蒲鉾類ノ製造漸ク盛ナラントス

礦産物

年産額 七百九十一萬圓

本縣ノ礦産物中石油ハ我邦ノ冠タルモノニシテ金銀銅等之ニ次ク其各産額ヲ舉クレハ  
原油 六百九十七萬圓  
金 六十三萬圓  
銀 十六萬圓  
銅 十五萬圓

本縣ノ石油ハ古來燃水トシテ世ニ知ラレタリシカ明治六年ノ頃ヨリ採掘ニ着手シ採掘法モ手堀、上總堀、機械堀ト順次發達シ今ヤ外國技師ヲ招聘シロータリー式新鑿油法ニヨリテ産出ヲ増加セリ、斯業ノ主ナル會社ヲ日本石油株式會社、寶田石油株式會社トス遠ク秋田縣、北海道、臺灣ニ亘リテ採掘ニ從事シ、油井數三千ニ達セントス



製

油 年産額 千四百十八萬圓

製品種類ハ燈油ヲ主トシ揮發油、輕油、重油、機械油、ピツチ等ニシテ製油ハ前二會社主トシテ之ニ從ヒ、日本石油會社ハ蝙蝠印、寶田石油會社ハ寶玉印ヲ以テ世ニ知ラル

染織物 年産額 千百九十三萬圓  
本縣ノ染織物ハ管内各地ニ産シ本縣工産物ノ首班ニアリ、一般ニ品質ノ堅實ナルヲ以テ聞ユ、其主ナル種類ヲ舉クレハ左ノ如シ

絹織物 年産額 六百六十六萬圓

(品名)	(年産額)	(主産地)	(販路)
平羽二重	二百六十九萬圓	五泉町、加茂町、栃尾町、今町	京都
意匠羽二重	五萬圓	栃尾町、加茂町	全
八ッ橋	二十二萬圓	五泉町、栃尾町、南北魚沼郡	全
生絹	八十八萬圓	五泉町、加茂町、栃尾町、村松町	全
明石絹、透綾類	百四十萬圓	十日町、南北魚沼郡	大阪、東京、京都、名古屋
節太織類	百一萬圓	栃尾町	東京、京都
糸織類	十一萬圓	栃尾町	群馬縣、東京
袴織地	五萬圓	山邊里村、五泉町	東京、京都、大坂
洋服裏地	十三萬圓	山邊里村、十日町	東京、大坂、京都

輸出 壁十萬圓 千手町、栃尾村

絹綿交織物 年産額 八十四萬圓

(品名)	(年産額)	(主産地)	(販路)
糸入織	三十一萬圓	見附町、龜田町	北海道、大坂、東京、京都、長野縣
新節織	十九萬圓	見附町	北海道、長野縣
絹經織	十六萬圓	全	大坂、北海道、京都、東京
袴地	五萬圓	全	東京、北海道

綿織物 年産額 二百〇三萬圓

(品名)	(年産額)	(主産地)	(販路)
本綿	八十七萬圓	龜田町、加茂町、小須戸町、村松町、葛塚町	北海道
白木綿	二十萬圓	吉田町、中蒲原郡	縣内
紺無地	十五萬圓	龜田町、見附町、葛塚町	北海道、長野縣
結城無地	十二萬圓	長岡市、見附町、龜田町	大坂、東京、京都
白織	十四萬圓	龜田町、小須戸町	北海道
染素地	十四萬圓	吉田町、三條町、龜田町、加茂町	縣内
納戸無地	十萬圓	小須戸町、龜田町	北海道
瓦新無地	十萬圓	見附町、龜田町	大坂、京都、北海道
シルケット入織	六萬圓	加茂町、見附町	大坂、長野縣、北海道
足袋底	四萬圓	吉田町	縣内



麻織物 年産額 二十五萬圓

品名	(年産額)	(主産地)	(販路)
上布	十六萬圓	鹽澤町、十日町、小千谷町	大坂、京都、東京、名古屋
縮布	八萬圓	小千谷、十日町、鹽澤町	全

雜織物 紐、真田類 年産額 八萬圓

染物 年産額 二百七萬圓

品名	(年産額)	(主産地)	(販路)
擦染	八十一萬圓	三條町、白根町	奥羽、北海道、關東、關西、長野縣
中形	七十五萬圓	三條町、白根町	奥羽、北海道、長野縣
裏地	五十萬圓	白根町、三條町、新潟市	奥羽、北海道

明治二十七八年ノ頃高田市ニ於テ開始セシヲ以テ本邦斯業ノ創始トス今ヤ婦人ノ手内職トシテ新潟市、長岡市、柏崎町、與板町、等各地ニ生産セラレ工賃約五十萬圓ニ達スヘシ、輸出先ハ、米、英、佛等ニシテ横濱ノ貿易商ノ手ニヨリ取引セラル

ブレード 年産額 二十七萬圓

バテンノ原料ニシテ新潟市新益社、高田市東洋ブレード合資會社根津工場宮崎工場ニ於

テ製織ス輸入防遏品トシテ横濱へ搬出ス

足袋 年産額 四十七萬圓

足袋製造ノ最盛ナルハ三條町ニシテ新潟市長岡市之ニ次ク、履匠足袋ハ全國唯一ノ良品タリ北海道奥羽地方ヲ主ナル販路トス

金屬製品 年産額 二百七十萬圓

利器、南蒲原郡三條町ノ利器及鐵器類ハ價格低廉ニシテ實用ニ適シ我邦三大産地ノ一トシテ著名ナリ問屋多ク蒲原及三嶋諸郡ノ製品此地ニ集散セラレ其取引高一ケ年百二十萬圓ニ達ス、重ナル製品ハ鋸、鋏、ナイフ、錠類、小荒物、鐵火箸、鋸釘、稻拔、鋏、鎌、真鍮小物、鉋、小刀、鑿、等ニシテ其販路北海道大阪ヲ始トシ全國ニ普シ此他柏崎町ノ鋸、高田市ノ毛拔、亦良品ヲ以テ名アリ

鑢、西蒲原郡燕町ニ産ス年産額三萬圓ナリ及鑢ヲ主トス價格廉ニシテ耐久力アリ販路ハ北海道ヲ主トシ關東、奥羽、關西各地トス

棉起銅器、燕町ノ特産ナリ、一塊ノ銅ハヲ棉展シテ、湯沸、氷注、茶托、香爐、花瓶等ヲ作ル年産額十萬圓ニシテ全國其類ヲ見ス、價格低廉ニシテ堅牢ナルノミナラス一種ノ雅趣アリ其販賣全國ニ亘レリ



煙管、燕町附近ニ産シ廉價ヲ以テ廣ク販賣セラル年産額五萬圓ナリ  
班紫銅器、佐渡郡澤根町刈羽郡柏崎町ニ産ス蠟型ニヨル鑄銅製品ナリ多ク花瓶、置物、  
文房具、茶托等ヲ造ル、鑄膚ニ一種ノ班紫色ヲ呈シ古雅ヲ以テ愛セラル、年産額四萬圓  
ナリ、東京、京都方面ヲ主ナル販路トス

度量衡器 年産額 七 萬 圓

度器曲リ尺ハ本縣特有産物ニシテ南蒲原郡三條町西蒲原郡燕町ヲ主産地トス其年産十五  
萬個ニ達シ全國ノ十分ノ六ヲ占ム、就中黄銅ノモノハ他ニ匹敵スルモノナシ、量器及衡  
器ハ新潟市、長岡市、三條町ニ産ス

漆 器 年産額 三十五萬圓

新潟漆器ハ本縣漆器中ノ主班ニアリ年産額二十五萬圓ナリ、金磨塗磁草塗、竹塗、花塗  
ヲ特色トシ製品ハ膳類、重箱、硯箱、菓子器、盆、卷蓆入等ノ板物ヲ主トシ一般ニ價格  
低廉ニシテ實用ニ適ス、北海道、東京、大阪、福井縣、秋田縣、青森縣等ニ販路ヲ有ス  
柏崎漆器ハ輪嶋式ニヨリ膳、椀、家具ヲ製シ、蠟色塗、上花塗、色塗ヲ以テ特色トス  
村上漆器ハ堆朱及堆黒彫刻ヲ以テ名アリ製作堅牢ニシテ年數ヲ經ルニ從ヒ雅致ヲ加フ、  
製品ハ盆、硯箱、菓子器、卷蓆入、卓、棚等ナリ

長岡漆器ハ板物ヲ主トシ、製品ハ新潟漆器ニ類ス

佛 壇 年産額 八 萬 圓

新潟市長岡市ヲ主産地トス、其技三府ニ次キ價格低廉ナリ、北海道、奥羽ヲ主ナル販路  
トス

履 物 年産額 六十二萬圓

本縣ハ桐材豊富ニシテ木材トシテ縣外輸出少カラス、其加工品トシテハ下駄ヲ第一トス  
新潟市ヲ主産地トシ長岡市高田市之ニ次ク、既製品ハ北海道及奥羽地方、未製品ハ東京、  
大阪方面ニ輸出ス、木質良好價格低廉ナルヲ以テ名アリ

桐 箆 筒 年産額 十 萬 圓

南蒲原郡加茂町、新潟市、長岡市ヲ主産地トス、價格低廉ナルヲ以テ需要多ク北海道ヲ  
主ナル販路トナス

桐 火 鉢

新潟市ヲ主産地トス一種ノ雅致アルト實用ニ適スルトニヨリ世ニ賞翫セラル  
燐 寸 年産額 九 萬 圓

新潟市及長岡市ヲ主産地トス、主トシテ縣内ノ需要ニ充ツ



和紙 年産額 十六萬圓

和紙ハ中蒲原郡七谷村最産出多ク製品ノ主ナル種類ハ大谷地紙、障子紙、糊入、梨紙、漉返等ナリ、加茂紙トシテ南蒲原郡加茂町ニ於テ取引セラル

刈羽郡小國紙亦傘用トシテ名アリ

澁紙 年産額 十萬圓

南蒲原郡加茂町ノ特産ニシテ價ノ低廉ナル他ニ比ナク敷紙トシテ販路全國ニ及ヘリ

繭袋、保米袋亦好評ナリ

ボール紙 年産額 二十四萬圓

長岡市北越製紙株式會社ニテ米産地タル本縣ノ豊富ナル藁ヲ利用シテ製造セルモノナリ

支那及印度ニ輸出ス

筆 年産額 十萬圓

三嶋郡關原村、南蒲原郡今町、中蒲原郡村松町ヲ主産地トス、就中關原村松山堂ノ如キ

ハ行商ニヨリ其販路全國ニ及ヘリ

陶磁器 年産額 三萬圓

無名異焼ハ佐渡金山ヨリ得タル一種ノ原料ヲ用キテ製ス頗雅趣アリ支那朱泥ノ壘ヲ壓セ

ントス、三浦常山、伊藤赤水名アリ

米谷焼ハ新發田町ヨリ産スル陶器ナリ、使用ニ從テ色澤ヲ増スヲ以テ愛好セララル

瓦 年産額 三十二萬圓

本縣産ハ釉藥ヲ施シ質堅緻ニシテ耐寒力ノ大ナルヲ特色トス、縣下各地ニ産スト雖北蒲

原郡産尤モ名アリ京瓦ニ匹敵スト評セララル

酒 類 年産額 五百七十八萬圓

本縣ハ米産地ニシテ杜氏ノ業ニ熟練セルモノ多キヲ以テ到ル處良酒ヲ産出ス、主ナル産

地ハ中蒲原郡、北蒲原郡、三嶋郡、中頸城郡トス、販路ハ北海道、長野縣、群馬縣、東

京等トス

葡萄酒ノ有名ナルハ菊水印葡萄酒トス中頸城郡高士村川上善兵衛經營岩ノ原葡萄園ノ醸

造ナリ、其栽培反別二十三町歩ニ及ヒ醸造高五百石ニ達ス、東京ヲ販路トス

醬油 年産額 百〇五萬圓

近來大ニ發達シ價格低廉ナリ中蒲原郡、北蒲原郡最産出多シ、北海道ヲ主ナル販路トス

北蒲原郡産印、醬油ハ朝鮮、樺太、浦鹽堡、露領沿海州地方ニ輸出シテ名聲アリ

菓子 年産額 百五十萬圓



本縣製菓業ノ盛ナル三府ニ次キ飴類ハ遠ク縣外各地ニ販賣ス、其重ナル種類ヲ舉クレハ

袖香里、カステラ、アリノ實、五穀糖 (新潟市)

越ノ雪、大手饅頭 (長岡市)

翁飴、粟飴 (高田市)

越ノミヅレ、庭砂糖 (三條町)

淡雪、明治饅頭、網代煎餅 (柏崎町)

養生糖、梅肉糖、無花果餅 (新發田町)

窓の月 (龜田町)

梶衣、羊羹 (三嶋郡片貝村)

葡萄羹 (村上町)

水飴 (西蒲原郡月潟村)

袖餅子 (西蒲原郡彌彦村)

白玉粉 年産額 三十萬圓

新潟市及加茂町ヲ主産地トス、主ナル仕向先ハ北海道及樺太ニシテ産額ノ五分ヲ搬出シ  
大阪、山口縣之ニ次キ各縣ニ販路ヲ有ス

茶 年産額 三十一萬圓

中蒲原郡、岩船郡、北蒲原郡ニ産シ煎茶及番茶ヲ主トス、北海道ニ輸出ス

人造肥料 年産額 三十八萬圓

新潟市及中蒲原郡沼垂町ヲ主産地トス、長野縣、山梨縣、富山縣、山形縣、等近縣ニ輸出ス

大正二年九月二日印刷  
大正二年九月六日發行

### 新潟縣物産陳列館編纂

印刷者 田代仁三郎

新潟市東仲通二番町

印刷所 新潟公友社印刷部

全上



142  
75

Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.



終

